会　派　合　同　視　察　報　告

市民クラブ
中牧　盛登
大厩　富義
創生みらい
傳刀　　健
降旗　達也

期間：令和３年１０月２６日（火）から２７日（水）まで（２日間）

査察地及び視察事項

（１）山形県鶴岡市

鶴岡サイエンスパーク

鶴岡メタボロームキャンパス（鶴岡市先端研究産業支援センター）

ヤマガタデザイン株式会社

（２）新潟県村上市

地域高規格道路新潟山形南部連絡道路

１．山形県鶴岡市

鶴岡サイエンスパーク

鶴岡メタボロームキャンパス（鶴岡市先端研究産業支援センター）

日　時：１０月２６日（火）午後１時３０分から３時３０分

2001 年、慶應義塾大学先端生命科学研究所（以下「慶應先端研」）の誘致・開設により「鶴岡サイエンスパーク」は、幕を開けた。県と鶴岡市の支援をベースに、大学、民間企業だけでなく、市民をも巻き込み、世界が注目する実績と未来への大きな可能性をもった面白い「街」に成長しつつある。この「面白さ」「ワクワク感」が、研究者をはじめとする多くの人を集め、バイオベンチャーを育て、新しい技術と製品を生み出している。

欧米では一流の大学や研究所、先進的でクリエイティブな企業ほど、大都市ではなく自然豊かな地方にある場合が多く、サイエンスパークは日本での地方創生の先駆け、成功モデルとして評価されている。

大町市においても、単なる大学誘致や企業誘致ということではなく、そこから新たなものがうまれていく「鶴岡サイエンスパーク」のような施設の設置はできないものか先進地の事例を学ぶ。

施設概要

敷地面積●43,030.54m2

建物構造●鉄骨造一部 2 階建

建物規模●建築面積：5,410.77m2、

延床面積：8,171.91m2

建物構成●

貸室棟：A 棟（平屋建 全 3 室）／B 棟（平屋建 全 6 室）／C 棟（2 階建 全 20 室）／D 棟（2 階建 全 26 室）／ J 棟（2 階建 全 5 室）

共用棟：[1 階] 玄関／玄関ホール／事務室／応接会議室（29.85m2）／会議室（120.85m2）／ラウンジ／湯沸室／コピー室／喫煙室／トイレ／打合せスペース

［2 階］応接会議室（56.77m2）／談話室／トイレ

レクチャーホール（302.32m2）

インフラ棟：発電機室／消火ポンプ室／倉庫／廃棄物置場／物置

企業等へのレンタルスペース●敷地面積約 2,505 ㎡

※入居企業や共同研究企業等が事業拡大を目的に使用するスペース

緑地広場・駐車場●駐車場 約 160 台　植栽、歩道、ベンチ

貸室仕様●

天井高：2,800mm

天井仕上：グラスウールボード（ケーブルラック整備）

床仕上げ：耐薬ビニール床タイル

壁仕上げ：合成樹脂エマルジョン塗装

床耐荷重：500kg/m2（フリーアクセスフロア H400）※スラブは 1,000kg/m2

ブラインド：電動ブラインド

供給設備：電気（単相 100/200V、3 相 200V 各一般用、非常用）・給排水・都市ガス

空調設備：ガスエンジンヒートポンプ式空調機 3 台（必要に応じて 1 台増設可能）

電話設備：内線電話 1 台（外線接続可能）

テレビ共聴設備：各貸室 EPS 内の端子盤から取り出し

情報通信環境：ブロードバンドインターネットサービス利用可能（貸室内への引き込みは入居者対応）

セキュリティ：IC カードキーにより管理、常時入館・入室可能

共用棟利用●

共用棟内の施設（事務室を除く）は、原則として入居者において無料で利用可能（コピーのみ有料）

無線及び有線 LAN を利用し IP アドレス自動取得により無料で自由にインターネット接続可能

レクチャーホール利用●※利用規程により申請が必要

音響映像収録システム／TV 会議システム（ポリコム）／300 インチスクリーン完備

無線及び有線 LAN を利用し IP アドレス自動取得により無料で自由にインターネット接続可能

貸室使用料●45,300 円／月～189,400 円／月

基本概要

〇慶應義塾大学先端生命科学研究所（IAB）
世界最先端のバイオテクノロジーを駆使し、メタボロームなどの生物データを網羅的に解析して得られる大量のデータを IT を用いて理解する「統合システムバイオロジー」という新しい生命科学のパイオニアとして世界中から注目を集めている。
〇ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社（HMT 社）：2003 年
2003 年よりメタボローム解析の受託事業等に取り組み、2013 年には東証（マザーズ）上場を果たす。
〇スパイバー株式会社（現 Spiber 株式会社）：2007 年
世界で初めて発酵（ブリューイング）プロセスによりつくられるタンパク質素材を開発。
同社が開発したタンパク質素材を使ったアウトドアジャケットを大手スポーツ衣料企業と共同開発し製品化を実現したほか、さらなるタンパク質素材の活用分野拡大にも取り組んでいる。
〇株式会社サリバテック
唾液中の代謝物質からがんのリスクを手軽に検査。
2020 年 10 月現在、全国で 1,100 を超える医療機関と提携してがんのリスク検査を行っている。
〇株式会社メタジェン
企業・研究機関向けに腸内環境の受託解析サービスを行っている。
腸内環境の解析を通して得られた研究成果を社会実装し「病気ゼロ」実現を目指す。
〇株式会社メトセラ
心不全向けの再生医療製品の研究開発を行う。
〇株式会社 MOLCURE（モルキュア）
人工知能を活用した抗体医薬品の候補探索技術の開発を手がける

など、地方にありながら、数多くのベンチャーが生み出されている。
各社とも創業後も慶應先端研と連携を続け、ビジネス化を着実に進めている。
また、世界レベルのがんの研究機関である国立がん研究センターと慶應先端研が連携して、

がんのメタボローム研究を実施する「国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点『がんメタボロミクス研究室』」も設置されており、がんの治療法やバイオマーカーの探索などに取り組んでいる。
様々な機関によるバイオ分野の研究開発が、「鶴岡サイエンスパーク」内で行われている。

ヤマガタデザイン株式会社

会社概要

VISION：山形庄内から、ときめこう。
MISSION：地域課題を解決する事業をデザインし
子どもたちが生きる未来に
自らも希望を持てる社会を実現する

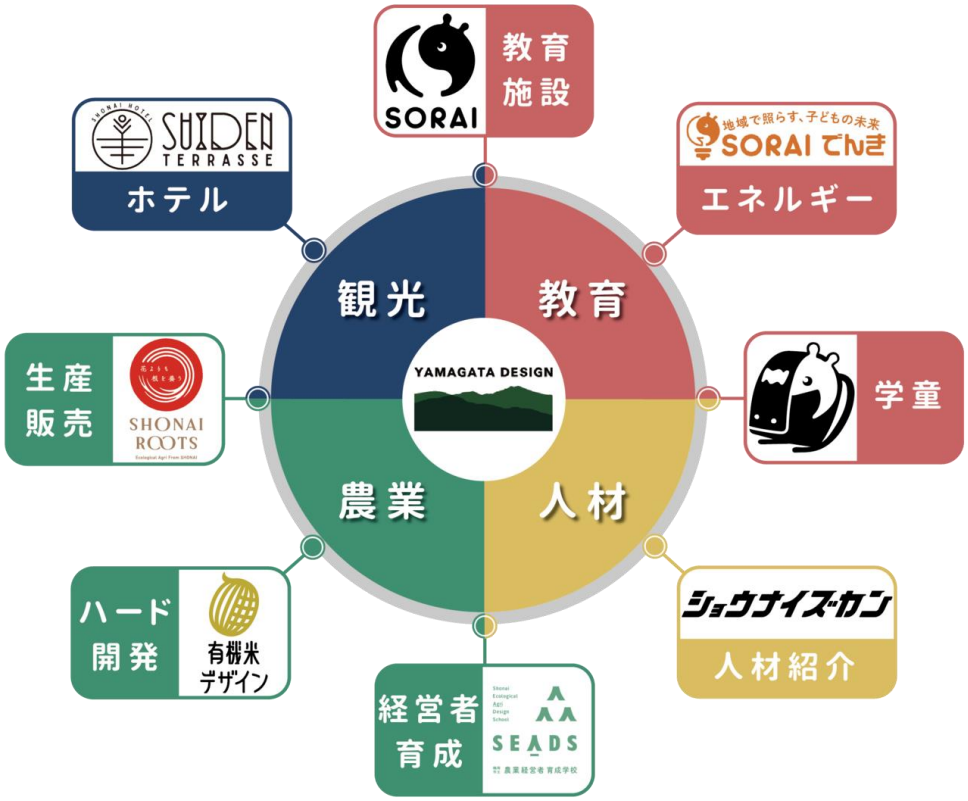
COMPANY PROFILE

正式名称：YAMAGATA DESIGN 株式会社
通称名：ヤマガタデザイン株式会社
設　立：2014 年 8 月（資本金 10 万円）
本社事務所：山形県鶴岡市千安京田龍花山 1-1
本店所在地：山形県鶴岡市北京田字下鳥ノ巣 23-1
代表者：代表取締役　山中 大介
従業員：151 名（正社員 85 名、パート・アルバイト 66 名）
（2021 年 11 月 1 日現在）
資本金：9,500 万円
資本調達金：34 億 6,000 万円(グループ含む)
取引金融機関：山形銀行 荘内銀行 きらやか銀行 鶴岡信用金庫 日本政策金融公庫

山形庄内が持続・自走する地域になるために

私たちは山形県庄内地方の街づくり会社です。 この場所に拠点や縁を持つ企業の投資により設立され、地域自らが当事者となり、山積する地域課題に挑み、未来を創造する、夢と責任ある社会の実現を目指しています。

当社にとっての“街づくり”とは 「地域課題をクリエイティブに事業としてデザインして解決すること」であり、山形庄内の未来にとって必要となることには全て、 私たちの力の限り、分野横断的に取り組みます。



サイエンスパークには、そこで働く研究者たちやその家族、視察や研修などに訪れる人々のための施設も充実している。これらの企画・建設・運営を担っているのが、まちづくり会社「ヤマガタデザイン株式会社」。

2018 年 9 月にグランドオープンした、「SHONAI HOTEL SUIDEN TERRASSE（ショウナイホテル スイデンテラス）」は、宿泊、レストラン、温泉、ライブラリーなどを備えた複合宿泊施設。11 月には、児童教育施設「KIDS DOME SORAI（キッズドーム ソライ）」がオープン。ともにパーク関係者だけでなく、一般の人も利用できるように運営されており、地域にも大きく貢献している。

〇ホテル事業

SHONAI HOTEL SUIDEN TERRASSE

晴耕雨読の時を過ごす、田んぼに浮かぶホテル

スイデンテラスは、米どころ庄内平野の水田の上に浮かぶように建つホテルです。建築家、坂 茂氏が設計した木のぬくもりと香りに包まれた空間は、四季折々の田園風景を眼前にゆったりと流れる時を過ごすことができるとして、国内外から旅客が訪れています。館内には、約 2,000 冊の本が並ぶライブラリ、地元食材を活かしたレストラン/バー、ショップ、天然温泉/サウナも備え、地元の作家やカフェが出展するマルシェやワークショップなどのイベントを開催することで、庄内の魅力を体感できる場所となっています。

〇教育事業

KIDS DOME SORAI

天性を重視し個性を伸ばす、全天候型の児童施設

ソライは、これからの時代を生きる子どもたちに必要なチカラを「遊び」をとおして育んでいくことを目的にした全天候型の児童教育施設。建築家の坂 茂氏が設計した木造のドーム状の建物には、高さ 6mのオリジナル遊具が設置されたアソビバと、約 1000 種類の素材と 200 種類の道具が揃うのツクルバ、約 800 冊の本が楽しめるライブラリがあります。庄内藩校 致道館で古くから教えられた学問、徂徠(そらい)学が掲げる「天性重視 個性伸長」（生まれながらの個性に応じてその才能を伸ばすこと）をコンセプトの核とし、子どもの夢中体験を創出する様々な仕掛けを作っています。

〇人材紹介業

ショウナイズカン

次世代が山形庄内と魅力ある仕事に出会う、ポータルメディア

ショウナイズカンは、庄内地域の仕事(WORK)と暮らし(LIFE)の情報を魅力的に発信するウェブメディアであり、就転職紹介サイトです。「地方都市で働くことは、地方都市で暮らすこと」と考え、従来の職業紹介サイトにはない、「暮らし」の魅力も発信することで、よ

り生活がイメージできる設計になっています。また、仕事も、若い世代が魅力に感じる求人を掘り起こすことで、「なりたい自分になる」お手伝いをしています。庄内地域の 2 市 3 町と県と UIJ ターンの促進に関する連携協定を結んでおり、行政と企業と一緒に、庄内を挙げて優秀な若者獲得に取り組んでいます。

〇農　業（ 生 産 販 売 ）

SHONAI ROOTS

花よりも根を養う、山形庄内の有機資源で循環する農業

　ショウナイルーツは、ヤマガタデザインアグリが山形庄内における有機農業の産地形成を目指して立ち上げたブランドです。農業による環境負荷の低減、並びに庄内地域の農業者の所得向上の両立を目指し、化学肥料・化学合成農薬に依存しない、地域の有機資源の循環を重視した農業を、自社、及び地域の生産パートナーとともに推進していきます。

　地域で顔の見える生産者同士だからこそ、栽培の工程管理・確認を厳密、且つ効率的に行うことができ、生産品の品質管理を徹底しながらも、特別栽培や、特に有機 JAS 規格の課題である認証にかかる費用と手間を最小限に抑えることが可能で（特別栽培、有機 JAS 認証の取得に関わらず）、生産者が初年度からブランドを使用できる仕組みを実現しました。ヤマガタデザインアグリが国内外における適正価格での販路の開拓を行っています。

〇農　業（ 教　育 ）

鶴岡市立農業経営者育成学校(SEADS)

有機農業を目指し、座学と実習を通じて農業技術・経営を学ぶ農業学校

鶴岡市立農業経営者育成学校(SEADS)は、2020 年 4 月に開校しました。有機農業を目指し、座学と実習を通じて、農業技術・経営を学ぶ 2 年制の就農支援施設。農業者が著しく減少する現状に対して、全国から集まる研修生を育成し、将来の担い手確保に努めます。地域の行政機関/JA/教育機関/民間企業が連携し、栽培技術研修、事業計画の策定,農地や販路の確保など、就農準備から農業経営安定化までを一貫して支援する日本で唯一の体制を構築しています。鶴岡市からの委託を受けて、ヤマガタデザイン株式会社がカリキュラムの企画/運営を担当。山形県内の経験豊富なベテランが校長やアドバイザーとして、運営陣を固めています。

〇農　業（ ハード開発 ）

有機米デザイン

テクノロジーでお米本来の味と力を

有機米デザインは、有機米栽培の大きな課題となる田んぼの除草作業を省力化/無人化する自動抑草ロボットの開発と有機米の生産支援・流通販売のプラットフォームの構築を通じ、有機米マーケットの拡大と生産者の所得向上に寄与します。現在は東京農工大学と共同研究を進め、ロボットの工学開発においてはTDK株式会社、販売体制においては井関農機株式会社と提携し、数年以内の商品化を目指して全国規模での実験を推進中。グループ会社で唯一、東京(東京農工大学小金井キャンパス内)に本社を構えています。

（ヤマガタデザイン株式会社様HPより引用）

〇所　　感

〇鶴岡先端研究産業センターにおいては、世界が注目する日本の先端技術を、鶴岡市から発信するために、Ｕターン組など地元で働くことに誇りを持つ方達が中心となって展開していることに感銘した。
大町市においては、学校再編により、空き施設の利用方法の課題もあるが、そのような施設を利用するにあたり、市民が誇りを持ちながら働く場として、大町市の特色以上の価値を求めることの重要性を感じた。

〇単に学校を誘致すれば地域が活性化するというような考え方でなく、鶴岡から新たなものを生み出していこうという意気込みが感じられる。

〇鶴岡サイエンスパークでは、600人を超える雇用が生まれ、若者人材の育成や高度な人材（研究者等）の集積などから、サイエンスパーク全体の活動が地域に及ぼす経済波及効果は、年間約30億円で5年後は48億円を見込んでいるとのこと。とりわけ、慶応義塾大学生命科学研究所では、若い人材育成として毎年30人の地元高校生が、研究助手や特別研究生として活躍しているなど、私たちの暮らしに関わる多くの効果を上げていることを強く感じた。

〇大町市としても、次の時代を担う人材育成や魅力ある産業を育てるための、基盤づくりの重要性を強く肌で感じた。

〇慶応義塾大学・山形県・鶴岡市との三者連携による取り組みは、大町市としても大いに参考としたい。

〇高速道路も新幹線もない鶴岡市に、若者（25～34 歳）や高度専門人材（研究者）が集積している事実も参考としたい。

〇ホテル事業においては、鶴岡サイエンスパークの一角にあり、水田以外は見当たらないと思われる場所であった。このホテルは、年に８万人から９万人が利用しているとのこと。ゆったりとした時間を過ごすための空間、また、その地域の特徴を生かすなどの発想は大事だと思った。

〇鶴岡サイエンスパークは、慶応義塾、山形県、市の三者連携で研究教育活動を推進しており、補助金として県と市合わせて毎年７億円を支援しているとのこと。それらにより、現在は６００人を超える雇用と年間３０億円を超える経済波及効果だそうである。
鶴岡市の説明を聞き、うらやましいかぎりだったが、大町市の地域活力の向上、雇用拡大への取り組み課題の重さを改めて感じた。

２．新潟県村上市

地域高規格道路新潟山形南部連絡道路

荒川道路

日　時：１０月２７日（水）午後１時３０分から２時

新潟山形南部連絡道路（新潟県村上市～山形県東置賜郡高畠町間）は日本海沿岸東北自動車道及び東北中央自動車道を接続する、延長約 80km の地域高規格道路。

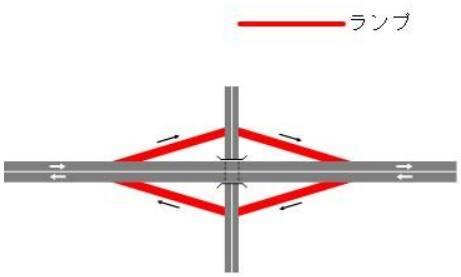
新潟市周辺地域と、米沢市周辺地域を相互につなぎ、日本海沿岸東北自動車道、東北中央自動車道、山形自動車道などの高速道路と併せてネットワークを形成し、「観光地の活性化」、「高度医療の支援」、「アクセスの向上」を支援することを目的に計画されている。

荒川道路は、新潟県村上市南新保を起点とし同市坂町に至る、延長 3.6km の国道 113 号のバイパス道路、および道路拡幅区間である。地域高規格道路新潟山形南部連絡道路（国道 113 号）の一部に指定されている。

荒川道路も、「地域高規格道路松本糸魚川連絡道路」で計画されている「盛土」での工法を用いているため、当地域における景観の課題や地域の分団の課題などを実際の現地を見ることで考える一助とする。

概要

この区間の旧国道 113 号は 1993 年に延長の指定をされたが、大型車の通行禁止区間が存在し、普通車でもすれ違いの困難な狭隘な区間と直角コーナーが続くため、通行に支障をきたしていた。また、日本海東北自動車道の開通にあたり、国道 7 号・国道 345 号からのアクセス道路を新しく作る必要があることから、荒川道路と乙バイパスが順次整備された。2009 年には両道路の全線が開通し、国道 345 号と国道 7 号間が円滑に通行できるようになった。



当道路の起点の交差点には日本海東北自動車道の荒川胎内 IC があり、料金所施設などがなく、ダイヤモンド方式で側道と直接接続している。起点から（新潟県道 289 号坂町停車場線（国道 7 号旧道）交点）手前までは高架になっており、羽越本線を立体交差ののち、十文字交差点付近の各幅区間に通じる。十文字交差点から国道 113 号旧道の乙方面へはこの交差点から側道を通ることになる。

なお、道路規格は 1 種 3 級であるが、自動車専用道路ではなく一般道路である。

路線データ

起点：新潟県村上市南新保（荒川胎内 IC）
終点：新潟県村上市坂町（十文字交差点）
全長：3.6km
車線数：暫定 2 車線

歴史

1996 年（平成 8 年）8 月 30 日 - 調査区間に指定
1999 年（平成 11 年）12 月 17 日 - 整備区間に指定
2009 年（平成 21 年）3 月 21 日 - 全線が開通し、供用を開始

〇所　　感

〇実際に運用されている地域高規格道路を車で走行したり、近傍で本線を望むことで、大町市で運用された場合の具体的なイメージを持つことができた。本線の盛り土はおよそ 4、5 メートル程の高さで延伸しており、本線から 100 メートルに満たない場から望んだ場合、さほど大町の景観に影響がないようにも思えた。

〇大町市区間で計画されているのと同様であろう「盛土」の工法で作られている、高規格道路を実際に走行したり、見ることで、当市における高規格道路のイメージを持つことができた。法面等もしっかりと芝が張られていて、周りの景色と同化とまではいかないまでも、違和感がない感じになっており、景観が損なわれてはいないと感じた。